

表題：『開口部における墜落防止』の見える化

概要：当作業所は地下四階の構造物を施工しており、各スラブには多くの開口部が存在している。万が一作業員が開口部から墜落した際は重大事故になりかねない。そこで、開口部の存在を誰が見ても分かるようにし、かつ強固な開口蓋を設置する必要がある。当作業所の対策としては、鉄板を開口部からずれないように設置し、注意喚起と錆止め防止のためペンキで色付けをした。また、ラミネートで作成した明示物を掲示して『見える化』を図った。

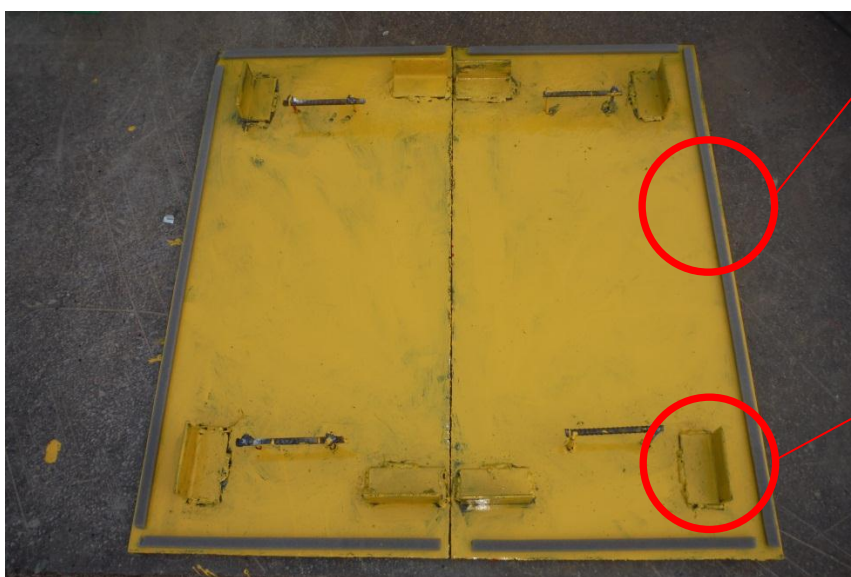
写真① 鉄板への色付状況



赤と黄色のペンキを使用し、注意喚起と錆止め防止を図った。

取っ手を付け、取り外し可能にした。

写真② 鉄板裏面の状況



隙間テープを張り付け、養生蓋とコンクリートが直接当たらないようにし、躯体への傷付け防止を図った。

アングルを取り付けることにより、養生蓋が動かないようにした。

写真③ ラミネート掲示状況



「無断で開けないように」と記載した。
また、やむを得ず開けなければならない場合は事務所に電話をかけるように促し、電話番号を記載した。

※ラミネートを取っ手の上に張り付けることで蓋を開けづらい状態にした。

写真④ 開口部養生前状況



写真⑤ 開口蓋設置状況

